

令和4年度 大野北地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和4年10月27日（木）午後7時から午後8時38分まで
- 2 場 所 大野北公民館大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、森副市長、田野倉中央区長、藤井環境経済局長、山口都市建設局長、加藤まちづくり推進部長、増田生涯学習部長、大島中央区副区長
川村市民局長
- 4 出席委員等 22人
- 5 傍聴者 6人
- 6 懇談会の要旨

テ ー マ	公 共 施 設 の 再 整 備 と 淵 野 辺 駅 南 口 周 辺 の ま ち づ くり に つ い て
概要	<p>淵野辺駅南口周辺のまちづくりにおける公共施設の再整備については、大野北地区のみならず本市の人口の流入増を図る上でも、将来を見据え、特に、政令指定都市に相応しい取り組みの必要性からも、地域住民ひとりひとりに対してやさしい複合施設としての整備が課題であると考えます。</p> <p>平成30年度に策定した「大野北地区まちづくり会議報告書」においても、各施設の老朽化が進行している」ことの現状の認識と、「公共施設の複合化による都市型の機能をそなえた、幅広い世代が活動することができる場を創出する」ことの必要性を提言した経緯がある。</p> <p>さらに、現在も継続開催されている「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」（以下、「市民検討会」）では、『公共施設』『公園』『都市基盤（まちづくり）』の各部門において、多くの検討が行われていることは承知しており、昨年度のまちづくり会議では、市の関係部署から市民検討会の検討経過について報告を受けるとともに、令和4年度中に基本計画を策定して、6年後を目途に複合施設の整備、移転完了との事業予定の説明があった。</p> <p>その席上、基本計画の策定にあたっては、まちづくり会議の意見、意向にも配慮して欲しい旨を市に伝えたところである。</p> <p>このような経過を踏まえると、大野北地区まちづくり会議が掲げる地域課題である「世代間交流で地域が活性化している状態」の実現に向け、スピード感を伴った実効性のある基本計画の策定を促すとともに、今年度の計画策定が、淵野辺駅南口周辺のまちづくりに係る、大野北まちづくり会議としての意見、要望が反映できる最後の機会と認識している。</p> <p>したがって、まちづくり会議における地域課題である「世代間交流」が、どのように基本計画の理念に反映され、具体的方策を盛り込んでいただけるのかを懇談の内容とさせていただきたい。</p> <p>また、公共施設の複合化後の跡地活用については、市民検討会において具体的に検討がなされていないと伺っているが、跡地活用は淵野辺駅南口周辺のまちづくりの一環で進めるべき事業であると考えているので、公共施設の複合化や鹿沼公園の再整備とともに取り組まれることをお願いしたい。</p>

<p>地区の取組 状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に「大野北地区まちづくり会議報告書」において公共施設の複合化を提言した。 ・平成30年度、令和元年度・2年度の「大野北地区まちづくりを考える懇談会」で公共施設の再整備と老朽化対策をテーマとしている。 ・令和3年度の第7回まちづくり会議において、「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」での進捗状況の報告を受け、世代間交流の実現に向けた意見や、基本計画の策定にあたっては、まちづくり会議の要望を反映して欲しい旨を伝えた。 ・令和4年度の第2回まちづくり会議において、再度「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会」の、その後の進捗状況の報告を受け、前回同様に意見、要望を伝えた。
<p>市の取組 状況等</p>	<p>淵野辺駅南口のまちづくりについては平成20年に大野北地区まちづくり会議の皆さまから提言を頂き、それを基に平成23年の大野北地区まちづくり懇談会で意見交換をさせて頂いた。さらに、平成29年12月に市の公表した基本計画案について、パブリックコメント等を通じ、多数の方からご意見を頂いた。それらのご意見を踏まえた上で市民検討会を立ち上げ、現在までに23回の検討会を開催してきたところである。</p> <p>市民検討会では、令和3年度に施設や機能の配置、組合せの検討、メリットや課題の整理、想定事業費の比較検討を行い、「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う」ことを確認したことを踏まえ、今年度は、まちづくり、公園、公共施設の各ワーキンググループに分かれ、まちづくりのコンセプト、公園のゾーニング、新たな施設内の機能の組合せや配置等の検討を進めてきた。</p> <p>検討の際には、まちづくり会議からのご意見と同様、世代間交流や国際交流につながる意見やアイデアも多く出されていた。</p> <p>9月9日、10日には、これまでの検討内容をまとめたパネルを基に、市民や施設利用者などを対象としたオープンハウスを実施し、2日間で479名の方にアンケートにご協力いただいた。</p> <p>先月開催した第23回市民検討会では、これまでの検討結果やオープンハウスの結果を踏まえた、基本計画案の見直しの方向性について、意見交換を行ったところである。</p> <p>その際には、世代間交流を意識し、多様な交流や活動を育み、ゆとりある居心地のよいまちづくりとして「人・活動・居場所がゆるやかにつながる図書館と公園のあるちょうどいいまち 淵野辺」を目標に、公共施設再編を契機としたまちづくりのテーマとして、お示ししたところである。</p> <p>具体的な方策として、鹿沼公園については、リニューアルの際に、公園の象徴的な施設は残しつつ、新たに休憩できるスペースや、多世代が交流できる多機能な広場空間の確保に向けた検討をして参りたい。</p> <p>公共施設についても、「目的がある人もない人も、気軽に利用できる公園のような施設」をコンセプトとして、複合化のメリットを生かし、気軽に利用できるフリースペースやお互いの活動が見える諸室等を充実させ、利用者同士がゆるやかにつながる空間を設けることで、そこに多くの市民が集い、新たな活動や世代間交流・国際交流などが生まれるような施設を目指して参りたい。</p>

	<p>公共施設再編後の跡地活用について、市民検討会では「イベントや災害時に使えるオープンスペース」や、「自転車駐車場の建替えの際の活用」などの様々なアイデアをいただいている。</p> <p>市としては、広く民間事業者の意見等も聴取しつつ、多くの人が行き交い、ふれあいが促進するような、にぎわいのある駅前に相応しい土地活用を進めて参りたいと考えている。</p> <p>このようなまちづくりを進めることにより、まちづくり会議における地域課題である「世代間交流」の実現に向けた取組を進めて参りたい。</p> <p>現在、基本計画案の見直し作業を行っており、市民検討会の検討も最終的な段階を迎えている。</p> <p>基本計画案の検討状況については、適宜まちづくり会議で情報共有し、ご意見をいただくとともに、基本計画案ができた際には、改めて皆さまにご報告させていただくなど、計画策定に向けた取組を進めていく。</p> <p>今後も地域の皆さまの声を伺いながら、一緒にまちづくりに取り組んでいくので、引き続きご協力をお願いしたい。（山口都市建設局長）</p>
--	--

懇談内容	
地区の発言	<p>国際交流ラウンジも公共施設の1つなので、標識・看板に英語とルビを一緒に振っていただくと、外国人にとってわかりやすくなる。</p> <p>ローマ字が振ってあればわかるだろうと思うかもしれないが、外国人にとってローマ字はわかりにくいので、英語かルビを振ってほしい。</p>
市の発言	<p>施設の案内サインへの多言語表記やピクトグラムの掲載により、必要な情報が国籍や年齢を問わず、必要としている人にわかりやすく伝わるような施設づくりを行っていききたい。（増田生涯学習部長）</p> <p>共生社会の実現を目指す中で、外国人市民からの要望はしっかりと受け入れていききたい。現在も避難所などでピクトグラムを使った表記をしているが、やはり、英語が一番わかりやすいということによいか。（本村市長）</p>
地区の発言	英語での表記が、多くの人にとってわかりやすいと思う。
市の発言	今後、英語表記の検討を進めていく。（本村市長）
地区の発言	<p>オープンハウスで提示された3つの選択肢の場所のうち、いずれかに複合施設が建てられると思うが、示されている場所はどれも沼地である。7,500㎡以上の大きな建物が本当に建てられるのか、根拠があれば示して欲しい。</p> <p>もう1点、現在、色々な部署で横断的な取り組みをされているが、今後、基本計画が策定されたとして、どこの部署で事業の進行管理をするのか。</p>
市の発言	<p>1点目について、建設に当たってはしっかり地盤調査を行い、必要に応じて支持基盤までしっかり杭を打ち込むような安全対策を講じていききたいと考えている。</p> <p>データについては、地盤の状況等や想定される地震の両面から揺れやすさを表した揺れやすさマップというものがある。これによると、鹿沼公園の中と近隣の高層マンションで同じ分類となっており、さほど影響はないと考えられるが建設時はしっかり地盤調査をし、安全確保を進めていききたい。（藤井環境経済局長）</p>
地区の発言	工期や現在高騰している工事費等も考慮に入れ、早期実現を目指して欲しい。
市の発言	基本計画の策定に向けては、これまで、都市計画課と公園課、生涯学習課の3課

	<p>が中心となって検討・計画の策定を進めてきた。計画策定後は公園、まちづくりセンター、公民館に加え複合化する施設も多いので、それぞれの課と連携を図り、スピード感を持って事業を進めていきたい。（山口都市建設局長）</p> <p>まず、地盤については、近隣のマンション等とも似ているという話であり、昨今の海の埋め立てによる高層マンションの建設等の事例を見ると、色々なことに耐えうる技術力があると思う。設計会社や建設会社としっかり議論をした上で進めていきたい。</p> <p>次に、どこがこの事業を担当していくかだが、これまでの反省として、相模大野駅の伊勢丹の撤退の際、都市建設局、環境経済局、南区役所の3部署の連携がうまく行っておらず、一部の関係者しか最新の情報を知らない状態にあった。現在、本市職員は、教職員を含めて8,000人ほどいるが、縦の連携は強いが、横の連携が弱い傾向があり、今後はそういったことのないようにしていきたい。</p> <p>本件は森副市長の所管になるので、副市長を先頭に庁内でしっかり連携を図りたい。市民検討会やまちづくり会議からのご意見などは、スピーディな情報共有が大切なので、少しずつ改善していきたい。（本村市長）</p>
<p>地区の発言</p>	<p>地域活動や市民活動を実際に行っている人たちの意見を反映し、活動の継続・発展を支援することが、まちの活性化に繋がると考える。そこで、それらの活動を阻害する可能性があると思われる幾つかの項目について聞きたい。</p> <p>平成29年に示された基本計画のたたき台において、建物の総面積を現在の7,881㎡から7,500㎡にするとあったが、これにより従来の諸活動の継続に無理が生じるのではないかと感じている。まず、大野北公民館や青少年学習センターにある6室の会議室は、面積等はそのままに複合施設に配置されるのか。</p> <p>2点目に、「フリースペースに転用する低稼働率の諸室・機能の重複する諸室を削減する」とあるが、これはどこを指しているか。</p> <p>3点目として、たたき台では、諸室の定量的記載をしないことになっているが、これでは活動可能人数の検討ができない。今まで活動していた団体が、部屋の予約ができず、フリースペースを利用することとなり、結果フリースペースが混雑するのではないか。検討材料として、定量的な記載は必要ではないか。</p> <p>最後に要望だが、まちづくりセンター等にある、地域活動に機動的に使えるコミュニティ室は非常に便利に使わせていただいているので、残して欲しい。</p>
<p>市の発言</p>	<p>地域活動・市民活動等を活発に行っていただくことは、地域の活力や、コミュニティの形成に繋がる大切なことだと認識している。</p> <p>公共施設の中で廊下、トイレ、階段等の共用スペースを集約することで、結果的に延床面積は減る見込みだが、市民の皆さまの活動に必要な諸室については可能な限り確保していきたいと考えている。</p> <p>次に、低稼働率の諸室と機能の重複する諸室だが、建物の建設時と現在ではニーズが変わり、有効活用されていない諸室がいくつかある。例えば和室は図書館、公民館、それから青少年学習センター等様々な施設にあるが、利用者の高齢化等でニーズが減ってきていると聞いている。会議室についても、それぞれの施設に複数設置があり、必要だと考えるが、最近では、会議室本来の目的と異なる形で利用されることが多いとも聞いている。こういった諸室については、この再編を機に今のニーズに合わせたい。</p>

	<p>定量的な記載が必要なのではというお話だが、基本計画は大きな方向性を定める内容と捉えており、各部屋の面積や数等の定量的な検討は、基本計画策定後に検討したいと考えている。</p> <p>場合によっては、今後、市の考え方を整理し、各施設の運営委員会等で説明することも検討していく。（増田生涯学習部長）</p>
地区の発言	ある程度整理がついたところで、考え方を説明いただける場を設けてほしい。
市の発言	<p>市としては、今後、公共施設の床面積を減らしていく計画があるが、淵野辺駅南口の公共施設の再編に関しては、施設ごとにあったトイレや階段が施設の複合化により集約され、共用になるため、面積は減る。ただし、まだ白紙の部分も多いので、施設の具体的な内容は市民検討会やまちづくり会議などで意見を頂戴したい。</p> <p>フリースペースについては、現在、市役所内で先んじて取り組んでいる部署もあり、時代にあった取組みであると考えている。今後、しっかり検討していきたい。</p> <p>機動的に使えるスペースの重要性についても承知した。居場所という意味でも、色々な人たちが集える場所が必要だと思うし、今回は図書館も入る複合施設になるので、機能を充実させていきたい。</p> <p>相模大野中央公園でも人を呼べる仕掛けを作りたいということで、子育て広場などに加え、今後、お茶を飲める喫茶室のような場所を作るなどの話も出ている。こういった例もあるので、鹿沼公園にも同じように皆さまが集える場所を作っていきたいと思っている。（本村市長）</p>
地区の発言	<p>児童館は指導員がいて子どもたちが安心して遊べる施設であり、子どもが利用しない時間帯は、地域の活動の拠点としても利用されているので、誰でも出入りできる複合施設に児童館を配置するのは子どもたちの安全面に対する心配も考えられる。その分のスペースを図書館などの空間として有効に使ったら良いのではないか。児童館を今までどおり独立した形で残すことはできないのか。</p> <p>また、市内で複合施設に児童館が入っているところはあるのか伺いたい。</p>
市の発言	<p>現在のあさひ児童館の状態として、玄関のすぐ前が道路であり、安全上の課題や、屋外で遊ぶスペースがないといった課題があると承知している。</p> <p>今回、鹿沼公園と隣接することになるため、前述した課題の解決に繋がるだけでなく、図書館などその他施設との複合化により様々な相乗効果が期待でき、利用する子どもにとってよりよい環境になるという観点で複合化を考えている。</p> <p>もう1点、現在複合施設に入っている児童館はあるのかという質問だが、こどもセンターはあるが、児童館はないと思う。（増田生涯学習部長）</p> <p>現在のあさひ児童館は目の前に一方通行とは言え道路がある状態である。今後、複合施設に入ると、安全上の問題が解決するだけでなく、公園で遊んで、図書館の本を読んで、国際交流ラウンジで外国人の皆さんと交流する等、色々な可能性が出てくると思っている。（本村市長）</p>
地区の発言	そもそも、児童館が複合施設に入るのはいかがなものか。児童館を複合施設に入れると言うことは、子どもたちが使用する時間帯に確実にそこを空けておかなければならないということであり、住み分けが困難である。
市の発言	確認だが、これまで児童館を複合化すること前提で話が進んできている。まちづくり会議等の場でそういったご意見を言われたことはあったか。（本村市長）

<p>地区の発言</p>	<p>児童館も複合化の対象だということを最近知った。よってそういった場で意見を表明したことはない。</p> <p>あさひ児童館は建設からまだそんなに経過していない新しい建物である。それを安易に壊して複合化してしまうのは、勿体ない。目の前が公道で危ないというのであれば、例えば、目の前にある駐車場の土地を生かし、子どもたちの運動場を確保するなど、やり方を改めて考えてもいいのではないか。</p>
<p>市の発言</p>	<p>事業のスピーディな進行をとご指摘頂いている中で、今年度中に基本計画を作ること目標に市民検討会等で議論を重ねてきた。図書館と公園の一体的な整備という案も出てきている。ここで対象施設の再検討をするとなると時機を逸する可能性があるが、その点はどうお考えか。（本村市長）</p>
<p>地区の発言</p>	<p>子どものためならば遅れるのも仕方ないと思う。今まで市民検討会等でもそういった意見は一度も出てこなかったのか。</p>
<p>市の発言</p>	<p>市民検討会の中で、どの施設を複合化の対象にするかの検討はしていた。</p> <p>具体的には青少年学習センター、あさひ児童館、図書館、視聴覚ライブラリー、大野北公民館、大野北まちづくりセンター、さがみはら国際交流ラウンジを複合化の対象とし、世代間交流を伴った楽しい施設にしていこうという形で話が進んでいると理解している。（加藤まちづくり推進部長）</p>
<p>地区の発言</p>	<p>当初は、施設の複合化や再開発等も含め、4年で決定できるという前提があり、とにかく早くやることを意識して動いていた。そのため、児童館の複合化に反対という意見は出ていなかったと思う。</p> <p>しかし、現在、複合化後の跡地の扱いについては6年後から検討するという整理になっており、具体的にいつどのようにするという計画は示されていない。かつては施設複合化によって生じた跡地等を売却し、その資金を活用して新施設を建設するという話があったが、その予定がないのであれば、児童館は複合化しなくてもいいのではないか。</p> <p>児童館は地域に根差した施設である。あの場所を通じて成長し、愛着を持っている人が沢山いる。そういう施設をあえて壊して複合施設に入れる必要があるのかという疑問もある。</p>
<p>市の発言</p>	<p>最近になって児童館の複合化はどうかという思いが出てきたということか。（本村市長）</p>
<p>地区の発言</p>	<p>そうである。市は跡地利用を6年後に考えるとしており、そこから考え始めるとなると、何年後に駅前再開発や民間開発が完了するのかわからない。10年先でも跡地が残っているのなら、児童館も十分そのまま使えるのではないかと感じる。</p> <p>あるいは先ほどお話があったように、目の前にある駐車場の土地を使ってもう少し児童館の敷地を広げてもらえば、子どもも安全に使えるようになるのではないか。</p>
<p>市の発言</p>	<p>承知した。かなり議論が進んできている中で再度見直しをするとなると、さらに事業の実施が先送りになる可能性も出てくる。まずはご意見として受け止め、庁内で検討したい。（本村市長）</p>
<p>地区の発言</p>	<p>1点目に、複合施設の設置場所の候補について先日のオープンハウスで3ヶ所提示があったが、基本計画をまとめる上でどの案を採用予定なのか伺いたい。場所によっては日照、景観等の様々な面で様々な影響を受ける住民がいると思う。</p>

	<p>次に、複合施設の規模及び設置場所を示さないと地域住民としても総論では賛成だが、各論で難色を示すことがあるのではないかと。どの段階で示されるのか。</p> <p>もう1つ、交通公園近辺に複合施設を建設する正面案だと、駅からの利便性が優れている反面、交通公園や遊具広場が狭くなってしまうと聞いたが、この場所については、平成29年の基本計画案によって示された位置と同様である。</p> <p>公園の全面リニューアルの中で、交通公園や遊具広場の現状の広さを確保しつつ再整備すればこの正面案についても賛同が得られると思うが、いかがか。</p> <p>最後になるが、かつて児童交通公園では交通安全教室等が開かれていたが、最近では開催されていないようである。もっと活用していくべきではないか。</p>
<p>市の発言</p>	<p>まず複合施設の設置場所については、基本計画案の中で3ヶ所の設置可能エリアを示しており、現段階では設置場所の絞り込みは行わない。来年度以降実施する予定の民間活力導入可能性調査により、民間企業の提案等も参考にしつつ、絞り込みを行って参りたい。</p> <p>次に、正面案については、お話のとおり一部交通公園を圧迫する形である。スペースの確保については、西側に白鳥池が広がっているため、例えば交通公園と遊具広場を分ける形であれば設置は可能だが、交通公園と遊具広場を一体で管理できる方が目が届きやすいため、交通公園を中心とした遊びゾーンが狭くなる形で提案している。</p> <p>最後に交通安全教室は、昨年度までは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となっていたが、今年から夏休み中の平日に開催している。今後もできる限り開催していきたい。（藤井環境経済局長）</p> <p>先日開催したオープンハウスでは500名弱の方からご意見をいただいた。その中には児童交通公園の場所に関するものや、施設そのものを大事にして欲しいという意見が多く見られた。最終的には、図書館敷地と公園とを一体的に使う形、或いは西側に若干寄った形がベースになるものと考えている。勿論、実現化に向けた検討の中では若干の位置のズレが出るかもしれないが、基本的にはそれが地域の意向に最も即す形ではないかと考えている。</p> <p>それと、跡地利用についてまだ何も決まってないとお話があった。跡地については、市民検討会でも、各種施設の配置場所が決まるまでにある程度時間がかかるので、それまでに検討を進めていく整理となっていた。今後、跡地利用も含めて民間事業者等の意見も聞きながら、検討を進めていく。</p> <p>児童館を複合施設に入れるのはいかがかというお話もあった。複合化が前提になってはいたが、市としても、検討して行きたいと思う。</p> <p>今回の市民検討会の中で出てきた案については、比較的多くの方に受け入れてもらえる成果となっているのではないかと。今日いただいた意見なども含め、更に詳細を詰めながら、有識者の方のご意見を伺い、次世代に引き継ぐ、次世代に誇れる南口にしていきたい。（森副市長）</p>

市長の感想等	<p>本日は貴重なご意見をいただいた。中々行政だけではまちづくりはできないので、市民参加型の市政にし、市民の皆さんが自慢したくなるようなワクワクする相模原にしていきたい。</p> <p>橋本では、4年遅れとなったが、都市計画決定に向けてまちづくりが動き出した。相模原でも補給廠跡地の今後の利用方針が5月に決定し、それを受け、検討会で議論を進めている。そしてこの淵野辺でも、駅前のすばらしい都市公園を含め、これからのまちづくりをどうしていくかという議論をしている。</p> <p>今日は児童館の話を始め、皆さまから色々なご意見をいただいた。持ち帰り、もう一度議論をした上でお返しさせていただく。</p> <p>最後になるが、10月19日に、青山学院大学陸上競技部の原監督に本市のスポーツ宣伝大臣になっていただいた。日ごろの活動を通じ、本市の魅力を発信してもらいたいと思っている。（本村市長）</p>
---------------	--